

## 一斉登校の再開にあたって

3月から約4か月を経て、来週から一斉登校が再開されます。いろいろなことを回復していかねばなりません、あわててはいけません。そこでみなさんに注意してもらいたいことをいくつか書きたいと思います。

まずは3年生のみなさん。先日連絡したとおり文化祭も中止せざる得なくなり、部活動についても代替大会が行われるのかわからない中、進路選択が目前に迫ってきました。心配なこと、不安なことがたくさんあると思います。就職試験の日程が1か月延期になったり、大学短大の総合型選抜の出願開始が、想定より2週間うしろに延びて9月中旬になったりしました。それでなくても今年は大学入試改革ということで、予定では英語の4技能を測定する外部検定試験が必須になるはずだったのが昨年急に延期になったり、大学入試共通テストの記述式問題がなくなったりと、国の動きに振り回されました。

こうした中ではありますが、みなさんには「進路の手引」に書いたように、「希望」をつくるために自ら行動し、たとえ失敗をしてもそれを「経験」に変えていってほしいと思います。私には3人子どもがいて、もう3人とも社会人になりましたが、高校3年のときの進路選択の仕方は三者三様でした。しかし進路を決めるときに、3人とも人生で初めてとあってよいくらい自分との対話を繰り返し、そして深く自分と向き合っていたように思います。高校受験のときは大違いでした。ぜひあこがれる先輩や大人たちの背中を追って、頑張りたいと思います。

さて、次はすべての生徒に向けてですが、NO.22で「新しい生活様式」について書きました。HPに掲載しましたが、読んでくれましたか？学校もそうですが、飲食店などお店に行ったときに、その人たちが感染防止のためにとっても労力を使っていることに気づきませんか？なぜかといえば、そうしなければ社会的な存在を認めてもらえないから、頑張っているのです。

みなさんの多くは、人にモノやサービスを供給する立場ではありません。それを受け取る立場ですよ。新しい生活様式が社会に根付くのかどうか、新型コロナウイルスとともに生きる社会（withコロナ）がつかれるかどうかは、実はこの「モノやサービスを受け取る側の人がどう動くか」にかかっていると思います。ソーシャルディスタンスとか咳エチケットとか、ちょっとした日常的なしぐさや行動に注意が必要です。

最後に部活動について書きたいと思います。1年生にとっては高校生活がようやく始まったところですが、部活動にはどんな形でもいいので、出来るだけ関わってほしいと思っています。しばらくの間は活動形態に大きく制限がかかると思いますが、クラス以外の人間関係を学校の中に持ち、同じ思いを仲間と共有してください。また、その他の学年の生徒は、部活動を再開するにあたっては、顧問の先生とよく相談して活動計画を立て、特に運動部の生徒は基礎体力が低下している可能性に十分注意して、ケガのないように動き始めてください。登校再開となつて、駅から歩いたり、自転車に乗って学校の坂を上った人は、きっと「えっ！こんなにきつかったけ？」などと思ったのではないのでしょうか。日常生活の中で維持されている基礎体力は、案外ばかにならないのです。安全に一斉登校を再開していきましょう。